

THE NAWay MAGAZINE

「世界中で読まれているNAの定期刊行物」
THE INTERNATIONAL JOURNAL OF NARCOTICS ANONYMOUS

2014年10月発行
第31号 / 4号



- [癒しと償い](#)
- [WCNA 36は、ブラジルのリオデジャネイロだよ!](#)
- [「伝統」に関する書籍のプロジェクト](#)



THE
INTERNATIONAL JOURNAL
OF
NARCOTICS ANONYMOUS

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスメンバーのための雑誌であるため、英語、ペルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのそれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ。

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのをお待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されてはいない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.orgにメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine: ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

編集者から、ひとこと

わたしはこのところ、長い間に集まった写真をながめながら「百聞は一見にしかず」ということわざについて考えていた。写真は一瞬をとらえる。けれども、それは、さらに長い時間をかけて複雑に紡がれた物語のほんの一コマをただの紙っぺらに写し取ったものだ。にこやかな笑顔が、言い表せない痛みを隠すものであってもおかしくはない。無人の椅子が丸く並べられているのは寂しそうにみえるかもしれないが、そこには大きな喜びと一体感に包まれた思い出が残されている。こうして今月号は、NAメンバーたちから送られてきたイメージで満載になった。わたしたちにとってなじみ深いものが多く、このような状況で自分にも人生が変わるような出会いがあったなあという思いにひたらせてくれるものばかりだ。今月号が、楽しい思い出や心の平安、希望を呼び覚ますものになれば幸いである。それによってみなさんが、何万というNA Wayの読者たちとNAのメッセージを共有できるイメージや物語を送ってみようという気になってくれるなら、こんなうれしいことはない。

そして、これまでに投稿してくれたみなさんだけでなく、紙版のNA Way マガジンの購読を打ち切ってくださいました皆さんにも、お礼を申し上げます。もちろん、紙版の方がいいという読者もいるだろう。その気持ちはわかるが、それでもやはり、紙版には掲載しきれない記事を読めるのだからインターネット版の方が良いだろう。だから、インターネット版を購読しても、自分のプリンターや町のビジネスセンターで誌面の一部や一冊丸ごとプリントするというメンバーがたくさんいる。みなさんがインターネット版の購読を選択するだけで、制作費と配布費用が大幅に削減されるのだ。インターネット版のNA Way マガジンでは、ユニークな写真やアート作品などいろいろな特典があるほかに、紙版にある記事の続編が読めるし、生中継も楽しめるようになっている。このように内容を充実させることで、みなさんにわたしたちの感謝の気持ちが伝わり、それではインターネット版を購読してみようかとwww.na.org/subscribeで手続きしてもらえたら、願ったりかなったりというものだ。

ド・J (エディター)

今月号の掲載記事

特集記事	3	PR: ドアを叩く	8
・ 15セント		NAの著作権と文献	9
WCNA 36	4	WCNA 36	11
ベーシック・キャプション・コンテスト	4	グループ紹介	13
わわちあい	5	カレンダー	18
・ 修復と償い		NAWS Product Update	19
・ 役に立ちたい訳		Coming Soon	20
・ 回復を映し出すもの			
「伝統」に関する書籍のプロジェクト	7		

Electronic subscribers can click here for additional content.

<表紙の写真> 背景:「グループ・デセージョ」は、ブラジルのサンタカタリーナで毎日ミーティングを開いている。ホジュリオ・S(ブラジル/サンタカタリーナ) 左上:スタンドグラスで照らされるNAグループのロゴ。クロード・G(カナダ/ケベック) 左下:フロリダ ファンコースト エリアでは、毎週114のミーティングがタンパで開かれている。そのうち29のミーティングは、地元の10グループの会場で開かれる。ダン・W(アメリカ合衆国/フロリダ) 右上:コロラドのプエブロにあるサウスサイド サバイバーズ グループの「ベーシックビルディング」。

マック・M(アメリカ合衆国/コロラド)

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからの便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。

15セント

「シルバーズのメンソールを一箱くれないか」。売り場にはむさくらしい店員がいて、のっそりと身をかがめてタバコの箱をつかみ、銘柄の横を見て言う。「5ドル15セント」。俺は、カンターに1ドル札を5枚放り出して、ポケットの中を探る。コインらしき手触りのするものを全部つかみだし、カウンターの上面にぶちまける。そのなかに、ちょっとしたコインが一枚ある。大きくて、金色で、全面に文字が刻まれている。それをなでていると、心はずでにここになくあらぬ彼方をさまよう。でも、なまじ知らないところではない。

4年前の自分がよみがえり、身もたえするような痛みに貫かれる。手のひらが汗ばんでいるが、救済が密封された小袋は落っこさない。助手席の下に手を伸ばし、おきまりの朝の行動をとるために道具を引き出す。俺だって、こんなことしたくないんだ。自暴自棄と絶望の嵐が心を吹き抜け、俺の尊厳をズタズタにして、跡形もなく食らい尽くす。俺は駐車場を見回して、誰も見えないのを確かめる。だが「さてよ」と思い出す。「今さら、気にするこっちゃねえや」。俺には強い味方がある。それが、細く鋭く、蚊のように俺の腕を突き刺して流れ込む。

3日、と自分に言い聞かせる。俺は、真冬のメドフォードの凍りつくような外気のなかへと歩み出る。たまらなく孤独で、寒さが身にしみる。体のどこもかしこもが痛む。リハビリ施設の外にある喫煙所に歩いて行くだけでも、痛くてたまらない。ポロポロの木のベンチに積もった雪を払いのけ、みんなから離れて端っこに座る。身を丸めて寒さをしのぎながら、服のポケットをあちこちまさぐってライターを探る。俺の頭は、足下のおぼつかない酔っ払いのようにふらふらしている。ライターは見つかりやしなし、泣き出したいような気分だ。感情の津波が頭をぶち破り、その通り道にあるものをすべて容赦なく徹底的に破壊していく。隠れるところはどこにもない。「ライターがほしいのか」。顔を上げると、ひどく年老いた男が見つめている。あふれる涙を見せまいとしても無駄なことだが、俺は目をそらす。相手は、今度はたずねない。俺の手にブルーのライターを握らせると、自分がまどっていたあたたかい毛布で俺の凍える身体を包んでくれる。ゆきずりの相手が示してくれた優しさに、俺は泣き出す。こんなことしてもらっただけなんかに、ぜんぜんないんだ。

30日、と自分に言い聞かせる。俺は、人々が輪になって座っている部屋を見渡す。コーヒーを飲み、冗談を言い合っている。胸がどきどきして、気が遠くなりそう。俺は立ち上がって30日のキータグをもらわなくちゃならない。炎に包まれているみたいに、身体がかあーっと熱くなっている。息ができない。俺の息の根を止めようとする存在がいるみたいで、息がつまる。こんな気持ちになるなんて。どうか、打ち勝てるようにと神に願う。周りを見ると、俺がこうやって息をするという何でもない行為を何とかやり遂げようとしていることに、だれも気づいていない。ゆっくり息ができるようになると、やっと気持ちが落ち着き、ミーティングが始まったのがわかった。「30日の人は？」。部屋に声が響き渡る。俺は椅子から立ちあがり、小さな部屋に拍手喝采がわき起こるなかを、生気に満ちあふれたような声の主の方に歩いて行く。オレンジ色のキータグをさきげている女性と向き合ったとき、部屋の空気が振動するのがわかった。この女性は心のこもったハグでねぎらい、俺にキータグを手渡して自己紹介を求める。「俺は、アディクトのスティープ。今日で、30日のクリーンだ」。つかえ、つかえ、何とかそれだけの言葉を吐き出す。この小さな部屋に集まった人たちがみな、もう一度拍手する。自分を誇らしく思う気持ちがわいてくる。しっかり頭を上げて席に戻っていきながら、なにか自分にはおよびもつかない偉大な存在が自分を見守っているのを感じ、この10年以上にわたってはじめて孤独だという気がしない。心が穏やかだ。自分自身を愛して受け入れるなんて、俺にはできやしないのに、ここにいる人たちはそんな俺のことを愛して受け入れてくれているのだろうか？

365日、と自分に言い聞かせる。アッシュランドにあるいつもの教会に、キャンドルの燃えるにおいがする。ここには、毎週火曜の夜に仲間たちが集まる。まわりを見渡すと、この一年間に



イラスト: クリストファー・W(アメリカ合衆国/テキサス)

『リーチングアウト』2014年10月号より転載

顔なじみになった人たちがいる。俺は、メダリオンを受け取ったら自分の話をしてほしいと頼まれていた。感謝の気持ちをもつアディクトはわかちあうものだと言われていたの、喜んで話させてもらうことにした。親しい仲間の一人が、キータグを配り始める。それが9ヶ月までいったら、次は1年だ。俺は、血と汗と涙を流したことが報われて、安っぽいプラスチックのメダルからしっかりした金属のメダルに昇格した。そして、生活もましになった。「1年」と呼びあげて、仲間が俺に笑いかける。俺はゆっくり立ち上がり、ゆったりした足取りでこの仲間のところへいき、クリーンで一年を過ごしたことを象徴するこの小さなコインをいただく。それから席に戻り、わかちあいのなかで正しい言葉が口をついて出てきますようにと祈る。俺は、この心強い存在を神と呼ぶようになってからすごく親しみを覚え、こうして話しかけるのが日課になっていた。

俺の頭のなかでは、この1年間のことが映画の予告編のように頭を駆けめぐり、鮮やかによみがえる。どんな話をするか、もうわかっている。部屋がシーンとなっていく、俺には、目の前でゆらめく小さな白いうろくの炎しか

脈拍が 一気に高まり・・・

みえない。もはや話をするのは、かつてのようにもどかしいものではなく、言葉がすらすらと口をついて出てくる。俺は、クリーンになるきっかけとなった出来事を改めて簡単に話す。当時のさまざまな思いがもたらす痛みにたじろぐ。それよりも今のこと、この前向きな変化にしっかり集中した方がいい。乾いてかさかさになった小さな紙切れをもてあそびながら、この狭くて暗い部屋のなかにいる古い友人たちや初対面の仲間たちに心を許していく。裁かれることを恐れずに、心を開いて本当のことを話す。それでも不安を捨てきれず、脈拍が一気に高まる。手のひらが汗ばみ、のどがからからに乾いていがらっぽくなる。恐怖心によって突き進み、社会的な不安を覚えながらも話を続ける。だが、チラッと自分が不安を感じていることについて話し、そうやって認めてしまうと、寒い夜に暖かい毛布をまとっているみたいなか心地よい暖かさに包まれているのを感じはじめる。そして、「俺はスティーブ。感謝の気持ちで回復の道を歩むアディクトです」と言って話を終える。

「お客さん、あと15セントですよ」と店員が言っている。俺は、店員の前のカウンターをぼんやりと見つめ、頭ではこの金色の大きなコインの重要性を理解しようと努める。そして、カウンターにぶちまけたコインをより分けて15セントをつくる。それを店員のほうへ押しやる。俺は思い出し笑いをする。すると店員がにっこり笑って言う。「いいですよねえ、その

コイン。オレも持ってるんです」

スティーブ・M(アメリカ合衆国)

ベーシック・キャプション・コンテスト

ここに、みなさんがNA Wayマガジンに参加できる新企画をご用意しました。下にあるコミックのキャプション(短い説明文)を書いて送っていただくだけで、そのままキャプション・コンテストに参加できてしまうのです。みなさんのキャプションから傑作と思えるもの(1点とは限らないかもしれませんが)を選んで、次回のNA Wayマガジンに掲載させていただきます。そうやってNA Wayに名前が載るといっても、なかなかいいものでしょう。申し込みは、Eメールで受けつけています。宛先は naway@na.org。件名は「ベーシックキャプション・コンテスト」とし、本文には名前と住所を必ず記入するようにお願いします。



Pat G, California, USA

癒しと償い

わたしは1989年にナルコティクス アノニマスにつながって今に至りますが、これを書きながら、24年以上にわたって薬物と無縁でいられたことのありがたさをかみしめています。わたしが回復の道を歩んで2年目のとき、16歳だった息子はクスリを使いまくっているあいだに同年代の子を刺し殺してしまったのです。裁判官は、ほかの10代の若者たちの見せしめにすべく、息子に終身刑を課して仮釈放の対象になるまで10年の服役を義務づけました。

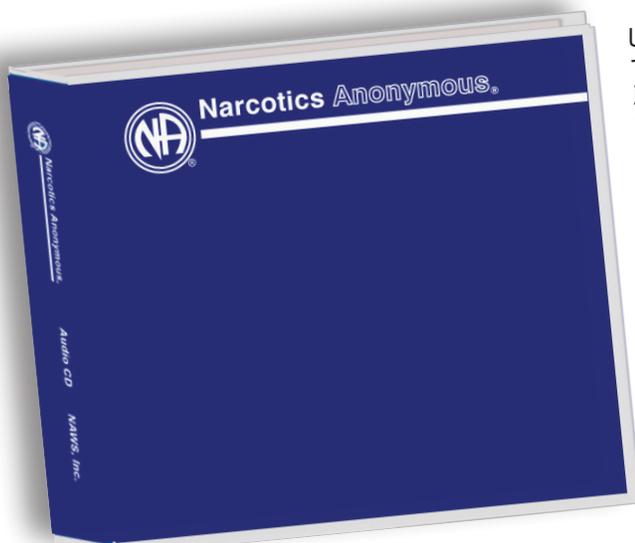
なんともやりきれないことでしたが、わたしはせっせとミーティングに通いました。スポンサーとステップに取り組み、サービスにも関わりました。それで、クスリに手を出さないでいられたのです。けれども息子は、10年の服役が終わるころにはどうしようもないほどクスリに溺れてしまい、刑務所の暴力にもどっぷり浸っていたため、仮釈放なんてありませんでした。このときどうすればいいか、わかったのです。こうなったら、息子が死ぬか、それとも生きる力となるNAのステップと伝統によって自由の身となるか、どちらにせよ、それまで息子のそばにいてあげるしかない。わたしは迷わず、カリフォルニアの家を捨ててケベック(カナダ)のポート・カルティエに移りました。

わたしが現地に到着して2、3ヶ月もすると、息子はNAという仲間の集まりからもたらされる愛を受け入れることでクリーンになりました。そして、最も不利な条件の下でもクスリを使わずにいられたのです。それからの9年間、わたしはNAで教えられたことをしました。電車やバスに乗り、さらには氷点下の凍り付くような冷え込みのなかを歩いてでも、見返りを求めずにNAの希望と自由のメッセージを運んだのです。そうするうちに息子は立ち直っていきました。わたしはほとんどお金を持っていなかったし、地元の言葉がしゃべれず理解もできませんでしたが、こんな北の果てまで来ると、フランス語や英語によるNAMミーティングはひとつもなかったのです。それでも、わたしには『ベーシックテキスト』とスピーカーのテープやCDがあったし、無償でいただいたものをわかちあおうという意欲と忍耐力もたっぷりありました。

息子は、最初の10年の服役を終えたあとも、さらに9年間は警備のあまり厳しくない刑務所で過ごすことになりました。そして、ようやく自由の身となったのです。この先もずっと保護観察期間中ということにはなりますが、4年近く刑務所の外で暮らしています。自由になって、タウ・アーティストとして働き、家族をもつという息子の夢は、すべてかなったのです。

どんなアディクトも使うのをやめることができ、使いたいという欲求がなくなり、新しい生き方ができるようになるというNAのメッセージは、息子の人生のみならず、息子が殺した少年の母親の人生にも変化をもたらしました。この母親は、わたしの息子を抱きしめて許してくれたうえに、今ではわたしと一緒に刑務所や被害者の権利保護団体を訪れて、許すということについて話をしてくれているのです。わたしは、クスリに溺れて子どもたちを傷つけたことを恥じて強い罪悪感を抱く母親として、これまでの償いをしたのだと言っていいでしょう。

サブリーヤ・D(カナダノバスコシア)



役に立ちたいわけ

オレはまず、スポンサーに言われたからサービスをするようになった。ホームグループの会場係をやって、グループのサービス代表をやって、といろいろな役割をこなしていた。そして、クリーンになって4ヶ月ぐらいの時にはじめて、役に立てることのありがたさを知った。そのころには、ホームグループが中間施設と支援センターを兼ねたところで夜遅く開いているミーティングで会場係をつとめ、机や椅子を並べてコーヒーを入れていた。病気のせいと言っちゃそれまでだが、オレはつまらないことばかり考えてえらく苦しい思いをしていた。机や椅子を並べたりするのも会場に行くのもイヤだったが、役割だから足を運んだ。オレのほかにもミーティングに来たのは、4人だけだった。全員がわかちあう時間がたっぷりあったし、オレもあまり突っ込んだ話はしなかったのだが、ミーティングが終わってから2人のメンバーが何か話している。それが後かたづけをしているオレの耳に入ってきた。2人が話しているのは、オレのことでも、オレの言ったことでもなかった。このミーティングにどれほど感謝しているかという話をしていたんだ。しかも、このミーティングがなかったらクリーンではいらなかったとまで言っていた。このときからずっと、オレは喜んでサービスに関わってきた。

ごく最近では、オレの人生にもう一つの恵みもたらされることになった。つらい思いをしたが、ありがたい経験だった。オレがクスリに溺れている間、オレのお袋はたとえ世間を敵に回すことになろうともずっと味方でいてくれた。そのお袋が、2012年の9月に末期ガンと診断された。それから何ヶ月にもおよぶ治療と介護のあと、2013年の2月、最後にもう一度緊急治療室に入った。夜が更けるにつれて、お袋の容態は悪化して昏睡状態に陥ってしまったので、治療を続けても回復不能な障害が生じるだけだった。午前6時になって、オレは妹2人と弟に電話をしてどんな状況になっているかを知らせ、助言を求めた。2004年にオレがクリーンになったとき、妹たちも弟もひとりとしてオレと関わりを持とうとしなかった。それが、その朝は3人が3人とも、オレが正しい決断をする信じていると言ってくれたんだ。8時になって、オレは生命維持装置の停止を命じた。8時15分にお袋は息を引き取った。NAのおかげでお袋は息子をとり戻し、妹たちと弟は兄を取り戻した。そしてオレには、愛の精神によって尽くしながらお袋が逝くにまかせる強さが与えられた。だから、オレはNAの役に立ちたいんだ。

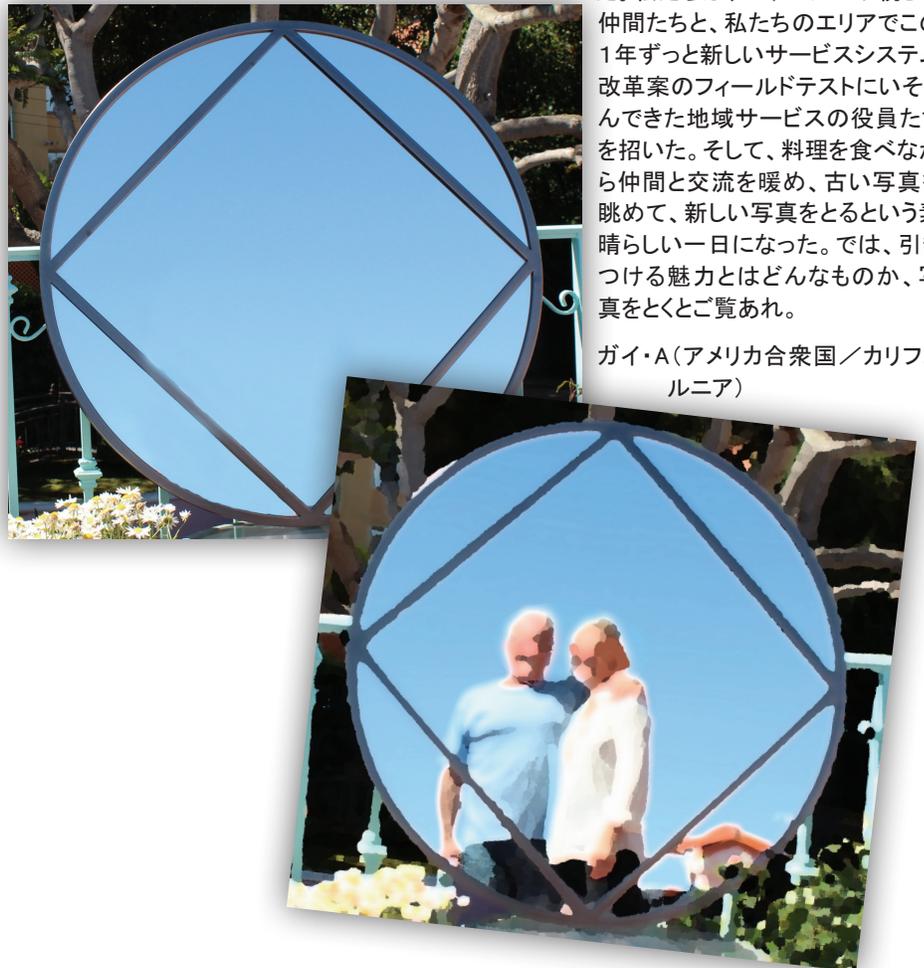
デニス・M(アメリカ合衆国ノース・ザンニュー・ヨーク・クリージョン)

リカバリー・リフレクション (回復を映すもの)

私と妻のスザンナは2人とも、ナルコティクス・アノニマスのメンバーになれたことをとても感謝しているし、それは長年にわたって変わることはなかった。そんな日々のなかで先日、妻は教養子の親からメールを受け取った。その親は、学校に鏡を提供することを計画していたのだが、スザンナに最初の所有者になってほしかったのだ。スザンナはその鏡を一目見るなり、いただくことにした。いやもう、本当に驚いた。スザンナは学校ではアノニミティを守っているのだから、この鏡が私たち夫婦にとってそれほど重要な意味を持つことになろうとは、この親にはわかってはいなかっただろう。もちろん、「NAっぽく」なるようにするには、裏面の金属部分に若干の修正が必要だったけれど。それから2、3日して、スザンナはスポンサーのリザにこの鏡をお披露目した。リザは鏡に映った自分の姿をみて、さっそく写真に撮った。そんなことがあってスザンナは、私たちの友人がみんな鏡に映った写真をとれるように、パーベキューを主催することを思いついた。

私たちは、スポンサーや親しい仲間たちと、私たちのエリアでこの1年ずっと新しいサービスシステム改革案のフィールドテストにいそしんできた地域サービスの役員たちを招いた。そして、料理を食べながら仲間と交流を暖め、古い写真を眺めて、新しい写真をとるという素晴らしい一日になった。では、引きつける魅力とはどんなものか、写真をとくとご覧あれ。

ガイ・A(アメリカ合衆国ノース・カリフォルニア)



『伝統』に関する書籍のプロジェクト最新情報

『伝統』に関する書籍のプロジェクトでは6月にワークグループによる第1回目の会議が開かれ、プロジェクト全体について話し合ったうえで、見直しと意見提供(R&I:レビュー・アンド・インプット)の第1弾に向けて資料作成にとりかかることになった。

第1弾は、序文と伝統1によって構成され、2014年10月に発表を予定している。

このため、9月にはワークグループが再度招集され、それまでの作業を終わらせて第2弾に着手する。次に発表される第2弾は、伝統2から伝統7までによって構成されることになる。

伝統1に関する意見提供(最初の原稿作成に役立てる経験とアイデア)は、7月31日をもって締め切らせていただいた。それまでには、世界中のメンバーやグループ、サービス委員会からたくさんの意見が寄せられ、その量は300ページを優に超えるものであった。

これに続いて、11月の末までは伝統2から伝統7に関する意見を提供していただくことになっているが、みなさんにはぜひ伝統6から伝統12に焦点を絞っていただくようお願いしたい。

伝統2から伝統5については、すでになりにたくさん意見を提供していただいた。

NAが一丸となれば、最良のNA文献が作られるだろう。

インターネットの掲示板(<http://disc.na.org/trads>)による話し合いに加わるもよし、このプロジェクトに関するウェブページ(www.na.org/traditions)にある資料によってワークショップを開くもよし、さらにはR&Iの原稿が公開されたら論評のワークショップを開くなどしてもよいだろう。みなさんのご協力を、心より願います。

このようなプロジェクトが前進するのを目の当たりにして、私たちはとても張り切っている。

続報をどうぞ楽しみに！

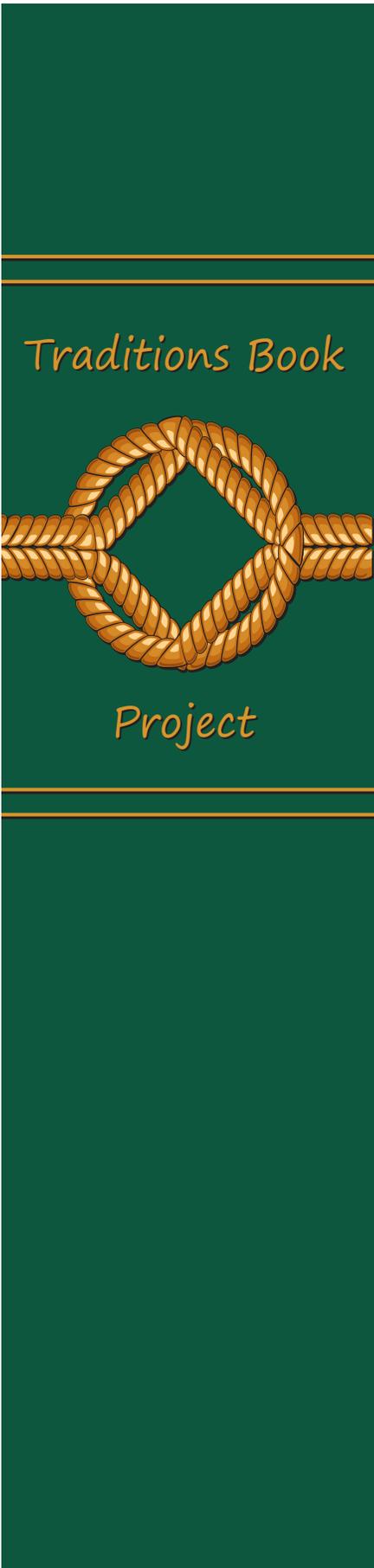
『伝統』に関する書籍のミニワークショップの概要は、以下のサイトで入手可能です。

www.na.org/traditions

みなさんのフィードバックやアイデアは、以下のアドレスにお寄せください。

worldboard@na.org

ご協力に感謝いたします！



広報活動

ドアをたたく

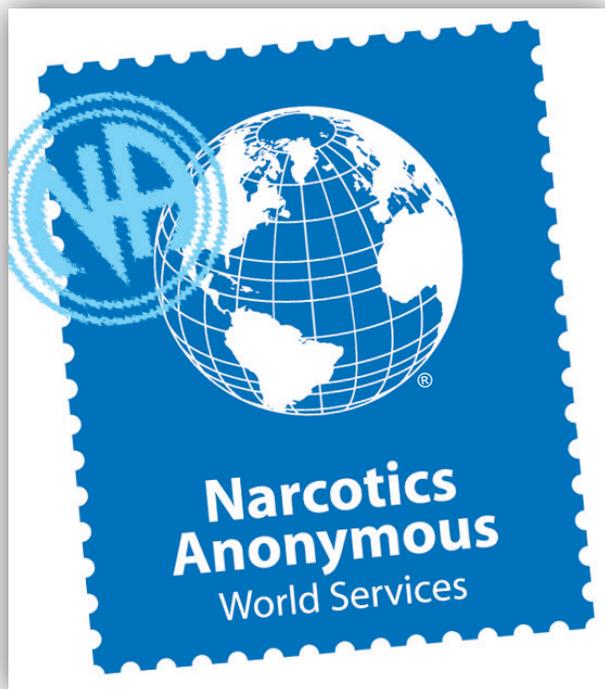
「ドアをたたく」ことが、NAの広報活動とどんな関係があるのか？ それに気づかないでいる方がおかしいし、本来なら真っ先に検討されるべきことだろう。一般的な広報活動というと、ポスターキャンペーン、健康フェア、中学や高校での説明会が定番のようにになっている。それでも広報委員会なら、それぞれの地域で開かれる専門家のカンファレンスに出席したり、あるいはテレビやラジオなどにお知らせを流そうとしたりすることもあるだろう。だが、これまでに、ナルコティクスアノニマスの回復のプログラムについて説明するために会っていただけないかとお願いすること、つまり多くのアディクト人生に影響を及ぼす立場にいる人たちの「ドアをたたく」ことを、じっくり考えてみたことがどれほどあるだろうか？

このようなやり方は、最近2度ほど用いられて成果があった。2013年にフィラデルフィアで開かれた回復を祝うWCNA35(第35回NAワールドコンベンション)に先立ち、NAではペンシルバニア州全体のアディクション治療を監督する州務長官に連絡をして、会談を打診した。これに続いて、ペンシルバニア州矯正局の職員にも会談の要請を行った。驚いたことに、このような州の専門機関がどちらも、NAとの会談を承諾してくれたのだ。たまたま会ってもらえたということに過ぎないのかもしれないが、それでもただ会うだけでは終わらない成果があった。WCNA 35での専門家との公開討論会には、この州機関の専門家たちが参加してくれた。それによって、ペンシルバニア州にある全施設の刑務官を対象にして研修を行うというアイデアが生まれたのだ。これがどんな好機となるか、考えてみよう。H&Iのサービスを受けられないアディクトたちにもNAのことを紹介してもらえるかもしれないし、それまでNAのことなど知らなかった刑務官たちが、NAがアディクトの役に立つことを学ぶことで常習的な犯行が減少することになるかもしれないのだ。

以上のような展開は、カリフォルニア州では何度となくみられていた。保安官の多くが、このプログラムのことやこのプログラムがアディクトのためになることを知らずにいるため、H&Iの奉仕を任せられたしもべたちがメッセージを運ぼうとしても施設に出入りする許可を与えなかった。それが、カリフォルニア州矯正局のドアをたたいて2011年のユニティデーへの参加をお誘いしたことで、NAとの関係がこれまで以上に強まり、H&Iに関する課題に取り組むことができるようになった。矯正局では、NAメンバーたちがNAに関する情報を提供できるように、州全体で保安官の研修を行うことを要請したのだ。

PR(広報)委員会の奉仕を任せられたしもべたちには、まず自分たちは誰に手をさしのべたいのかと考えてもらいたい。そうすれば、このような取り組みも計画のひとつになるだろうし、それによっていったいどれほど多くのアディクトがNAの命を救うメッセージを受け取ることができるようになることだろうか。ドラマチックに思えるかもしれないが、事実である。私たちは広報活動で新しいことを試みるのをためらい、これまで委員会がやっていたことだけをやるという選択をしがちなところがある。政府機関の専門家たちと会談するための計画は、救急科のある病院や社会福祉課などの役所への広報活動にも応用できるものだ。『パブリックリレーションズハンドブック(広報活動の手引き)』の4章には、専門家や一般の人々と交流する場合に実際に役立っている情報が掲載されている。

NAの方から機会を提供してこのような専門家とのつながりができることも大事だが、それでよしとしてしまわずに、NAが期待に応えることができたかどうかを評価するように専門家たちに念を押し、私たちがどうすればもっと役に立てるかを知ることが(おそらく、さらにいっそう)大事である。以上のような協力関係は好意的な態度で維持されなければならないし、それを前提にして成り立つものだ。広報活動によるサービス提供の目的は、回復のメッセージを運ぶことなのだから、アディクトと直接接触する職業に就いている人たちを通してNAのメッセージが届くようにする取り組みのなかで、私たちが万全を尽くせるように願おうではないか。





NAワールドサービス社
 PO Box 9999
 Van Nuys, CA 91409 USA
 電話 (818) 773-9999
 ファックス(818) 700-0700

www.na.org

ナルコティクス アノニマス の著作権および文献

この文書は、『ベーシックテキスト』の不法な出版と頒布に対して配布されるものです。みなさんもご存じの通り、このような問題は今に始まったことではありませんが、最近になってアウトリーチ活動が広範囲に広がるとともに、このような不正行為が増加してきました。広くメンバーたちの協力をおおぎ、無料もしくは低価格の文献を手に入れて配布するということが行われているのです。これに対して、フェローシップの資金を使って訴訟を起こすようにとワールドサービスに抗議する声もありますが、ワールドサービスはこのような問題を法廷で解決しようとは思いませんし、NAメンバーもほとんどがそんなことは望んでいないでしょう。かなり政治色の強い問題になってしまったのは事実ですが、私たちすなわちNA全体にとって何よりも大事なものは、政治のことでもないし、まして法律のことでもありません。スピリチュアルな原理に関することなのです。

もちろん、NAのなかにはワールドサービスに批判的なメンバーもいます。そのことは、私たちも重々承知していますが、だからといってNA文献を不正に出版して頒布していいわけがありません。そんなことをするのは絶対に間違っているし、NA全体によってははっきりと示されるグループの良心と私たちの「伝統」で表される一体性という原理に反している、と言っても過言ではありません。私たちは、NAの文献に収められている回復と希望のメッセージのおかげで生きているのですから、過去の論争を蒸し返してそのようなメッセージの保全を脅かすことは絶対に許されることではありません。

現に、2008年のワールド サービス カンファレンスによる『ベーシックテキスト』第6版の承認は、満場一致という総意を表すものでした。その表決のあとには、出席者が「抱き合って涙を流し、総立ちで拍手喝采」が起こりました(WSC2008年議事録より)。ですから、NAで承認されている英語版『ベーシックテキスト』は、この第6版以外にはあり得ないのです。

ワールドサービスの仕事の一つに、NAを代表してフェローシップの財産を保護する役目があります。私たちとしても、このようなことを書かずにすめばどんなにいいかと思いますが、あくまでワールドボードのメンバーとして自らの責任を果たすことで私たちに託された信頼に応えなければなりません。ワールドボードの責務については、『ガイド・トゥ・ワールドサービス・イン・NA(NAのワールドサービスの手引き)』、「フェローシップの知的財産委託」、ならびにワールドボードの規約にきちんと明記されています。この3つの指針は、私たちが現在の役目に就くずっと前の1980年代後半から1990年代前半に大論争と非常な痛みを経て誕生したものです。この不法出版に関する問題は、「カンファレンス アジェンダ レポート」に何度となく取り上げられたことで世界中のNAを巻き込む大論争となり、ワールド サービス カンファレンスで議論を重ねたあげく、あるメンバーに対する訴訟にまで発展したのです。そのような苦痛に満ちた過程は、世界各地の代表たちが膝をつき合わせて合意案を打ち出し、グループの良心に決定をまかせることによって終結に至ったのです。1991年のWSC(ワールドサービスカンファレンス)において、NAはこのような問題について圧倒的多数でその良心を表明し、「NAの知的財産および物質的財産の所有権は過去に作成されたものについても今後作成されるものについてもすべてワールド サービス オフィス社によって保持されることとし、このワールドサービスオフィス社はワールドサービスカンファレンスによる決定に従い、ナルコティクス アノニマスという仲間の集まり全体を代表して委託されてその所有権を保持することを再確認して承認する」という動議(賛成67、反対9、棄権3)をはじめとして、いくつかの動議が可決されたのです。

これを受けて、1993年には「フェローシップ知的財産委託(FIPT)」がNA全体で採択されることになりました。FIPTの目的は、「NAの12のステップと12の伝統に従うことによって、アディクトがアディクションという病気からの回復を見出し、そのことをまだ苦しんでいるアディクトにメッセージとして運ぶことができるようにするために、NAという仲間の集まりの回復に関する文献をはじめとしてあらゆる知的財産を所有管理する」(FIPT)ことです。

最近、メンバーたちがワールドサービスの許可を得ずに『ベーシックテキスト』を出版して頒布していることは、以上のようなNAのつながり全体による決定をないがしろにしているようにみえます。これは、私たちの文献に表されているメッセージが、まだNAにつながっていないアディクトたちに届くようにすること、つまりナルコティクス アノニマスの未来を守ることに関わる問題なので

1991年度 WSC (ワールド サービス カンファレンス)の動議

2/3の発声投票により賛成を得て可決：
 ワールド サービス カンファレンスを通じて
 ナルコティクス アノニマスという仲間の集まりの指
 示によって、
 ワールド サービス オフィス社は、
 書籍、パンフレット、ハンドブックをはじめとして
 ワールド サービス カンファレンスで承認されたす
 べてのNA文献、
 ならびにNAの知的財産および物質的財産の
 唯一の発行者であり販売者であることを
 再確認すること

す。奉仕を任されたしもべであれば、不法なNA文献について質問されたことがあるでしょうし、むしろ自問してもおかしくはありません。ここで、よくある質問をいくつかあげてみましょう。

なぜ、私たちの著作権を保護することがそれほど重要なのか？

つまり、NAが自分たちの資材を所有し続けるためには、NAのメッセージの保全とNAの財産の保護を第一に考えなければならないということです。私たちは、ナルコティクス アノニマスの文献にはNA全体の合意にもとづく文章が掲載されるようにする義務があります。NA文献の概念の忠実性を保証してNAという仲間の集まりの財産を守るためには、私たちの著作権を保護する以外に方法はないのです。

なぜ、無料の文献や低価格の『ベーシックテキスト』があってはいけないのか？

ワールドサービスカンファレンスでは検討を繰り返したうえで、低価格の『ベーシックテキスト』をつくるという動議を断固として無効としてきました。これは、まったく経済の問題なのです。ワールドサービスの収入の大半は文献の売上利益によるものですが、私たちは年間で50万ドル以上に相当する文献を提供または支援しています。みなさんが文献を購入しないことで、私たちが世界中のアディクトたちからの文献の要請に応える能力に影響を及ぼしているのです。私たちは、ふつうの企業ではありません。スピリチュアルな仲間の集まりですが事業を営むしなければならないのです。私たちの使命を果たすこと、すなわち「世界中のすべてのアディクトたちが、自分たちの言語でわかりやすく表現されたメッセージを受け取る」という未来に向かって取り組むためには、安定した財政状態を保つことと、ナルコティクス アノニマスの財産を守ることが必要になるからです。そして、リージョンやエリアの多くもやはり、オンライン(電話)サービスや刑務所に書物を届けることなどさまざまなサービスの提供を続けるために、文献の販売に頼っています。

ただ、そうはいっても、アディクトがみな経済状態に関係なく私たちのメッセージに触れることができるようにしておくのは大事なことでしょう。『イントロダクトリー・ガイド・トゥ・ナルコティクスアノニマス』は、NAプログラムの基本的なことが書かれている文献で、値段も高くはありません。この文献はカンファレンスの決議によって、低価格の『ベーシックテキスト』に代わるものとしてつくられたのです。

『ベーシックテキスト』のほかにも、NA文献の不正な出版物に対して自分は何ができるだろうか？

フェローシップの財産を実際に守ることができるのは、NAのメンバーとグループだけです。メンバーやグループでなければ、NA全体によって下された決定を効果的に実施してNA文献の不法な頒布に終止符を打つということではできません。ですから、みなさんをお願いします。不正行為に加わることも、不正行為を見逃すこともないようにしてください。そして、私たちがNAの財産を守りつつ、そのような不法な出版に反対の態度をとれるように、力を貸していただきたいのです。

知識を深めて、周囲の仲間たちにも教えてあげてください。このような文書が配布されることになったのはNA文献の意図的な不法出版があったからですが、そのほかにも意図せずFIPTを侵害してしまうことはよくあるのです。たとえば、サービス機関がIP(インフォメーションパンフレット)類をコピーしていくつかのグループに販売しようとする。たとえば、メンバーが文献の本文をPDFファイルで手に入れてスポンサーたちと一緒に使ったりすること。このような行為は、実際にはNA全体の決定や著作権法にはそぐわないものなのです。みなさんがもし、NA文献とNAのトレードマークの複写や複製に関して、していいこととしてはいけないことがよくわからない場合には、www.na.org/fipt でFIPTに関する広報ニュースをご覧ください。そうすれば、大半の疑問が解決するでしょう。

『ベーシックテキスト』誕生に関する簡単な記録をはじめとしてさらに詳しいことを知るには、www.na.org/fipt で2014年9月の広報ニュースをご覧ください。この情報の翻訳版は、入手次第に掲載される予定になっています。

ナルコティクスアノニマス 第36回 ワールドコンベンション 自由という贈り物 「今や、自由の身である」

2015年6月11日～14日 ブラジル、リオデジャネイロにて

ナルコティクス アノニマスはいのちの架け橋であり、私たちが生涯にわたって歩いていくことになる道である。

この道を歩むなかで、私たちには自由という贈り物を受け取る。気づきを重ねるごとに目が開かれる思いをさせられ、

そのたびに私たちはさまざまな段階の自由を知り、さらに大きく解放されていく。

ひとりひとりの生き方はそれぞれまったく異なろうとも、私たちは同じ旅を共有する。こうして回復の道を歩めるようになったこと、
クリーンで生きていること、そして自分が旅のどのあたりにいようととも旅は続くのだということに、私たちは心から感謝する。

『リビングクリーン』第1章

WCNA 36(第36回NAワールドコンベンション)のテーマ「自由という贈り物」は、『リビングクリーン: ジャーニー・コンティニューズ』の第1章から引用されたものです。私たちは回復の旅をするなかで自由を知り、さまざまな恵みを楽しみます。私たちは自由に夢を追い求めて実現することができるのです。リオデジャネイロでは、こうして自由になれたことを多くの仲間たちと祝おうではありませんか！

みなさんはWCNA 36に参加しようと、プランを立てるのに役立つ詳しい情報を待ち望んでいることでしょう。私たちは最終的な詳細の決定に励んでいるところなので、まだ万全ではありませんが、現在こちらにある情報をみなさんに提供させていただきます。

WCNA36の主な会場となるのはリオ・セントロ・コンベンション・センター。リオデジャネイロから南に約30キロ離れたところにあります。海岸沿いのホテルを確保しようとしたため、バーラ・デ・チジュカという地域にあるホテルの多くを利用することになるでしょう。ただし、一つだけ(とくに、このイベントの直前もしくは直後にリオでバカンスを楽しもうとしている場合には)注意していただきたいことがあります。

セントラル・リオ(リオ中心部)とバーラは遠く離れているわけではないのですが、交通事情からして限られた日程のなかで行き来するのはおすすめできません。そんなあてにならない経路を行ったり来たりしなくても、バーラにあるホテルのほとんどがリオに負けないぐらいの美しい海を間近に望めるようになっています。そして、このブラジルというとてつもない国をもっと探検したいと思っているメンバーたちのためにも、コンベンションの開催前と開催後には、リオをはじめ、ブラジルのさまざまな地域でのツアーをいくつかご用意するつもりです。私たちはまだホテルとコンベンションセンターに関する最終的な話し合いを進めているところです。11月にはきっと、コンベンションの参加登録とホテルの予約を開始できるでしょう。

コンベンションへの参加には、ブラジルへの入国ビザが必要になる国もあります。合衆国のパスポートを所有している場合は、パスポートの有効期限が2015年の末までになっていないと、観光ビザを申請することができません。ブラジル大使館では、ビザの申請をする際に郵便は受け付けていないそうです。このため、ビザ申請手続きのサービスか、予約なしで観光ビザの手続きができる大使館のサービスを利用する必要があります。参加登録の受け付け開始とともに、ビザの申請手続きができる場所やサービスについてさらに詳しい情報を提供できるようにいたします。ビザを必要とする国の一覧表と申請の要件については、

[http://sistemas.mre.gov.br/kitweb/datafiles/NovaYork/en-us/file/qgrv-simples-ing-26_03_2014\(1\).pdf](http://sistemas.mre.gov.br/kitweb/datafiles/NovaYork/en-us/file/qgrv-simples-ing-26_03_2014(1).pdf) をご覧ください。

英語を話すことができ、ワークショップまたはメインミーティングでスピーカーをしてみたいと思っているメンバーがいたら、自薦他薦を問わず、ウ

ェブサイトwww.na.org/wcnaにある応募用紙にご入力いただくようお願いいたします。応募資格としては、ワークショップのス



ピーカーには5年のクリーンタイム、メインミーティングのスピーカーには10年のクリーンタイムが必要とされています。
このほか、英語が話せて少なくとも5年のクリーンタイムがあるメンバーを対象として、これから3ヶ月(2014年11月～2015年2月)にわたりスピーカー候補者のテープを聴いてスピーカーの選考を手伝ってくれるボランティアも募集しています。スピーカー選考委員としてサービスに関わることに興味のあるメンバーは、2014年11月30日までに、ウェブサイトwww.na.org/wcnaにある応募用紙にご入力いただくようお願いいたします。

ブラジルのNAメンバーたちは、コンベンションの裏方をして自分たちの国に多くのメンバーを迎えることができるのを、それはもう楽しみにしています。ぜひ、輝くばかりに美しい景色と、活気あふれる文化を堪能させてもらいましょう。

- www.na.org/subscribeでEメールの配信手続きをすれば、WCNAIに関する最新情報が届きます。
- WCNA35をはじめ、これまでのコンベンションで録音されたCDやMP3を購入するには、www.siattend.com/Association.aspx?aic=NA をご覧ください。



* ポルトガル語を話すメンバーたちは録音資料をもっていないことが多いため、このようなメンバーたちのスピーカー選考はブラジルで個別に進めることになる。

形式に関する注意:

クローム・ブラウザをお使いの場合には、PDFリーダー(PDFファイルを読み取るアプリ)としてアドベ・リーダーがあるか、さもなければハードディスクにアドベ・リーダーをダウンロードして開けるようになっているかをご確認ください。

グループ紹介

NA Wayでは、世界中のNAからミーティング会場やイベントの写真が送られてくるのをお待ちしている。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮願いたい。なお、写真には、グループやイベントの名称、所在地および国名はもちろん、グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、そして「ウチのグループならではのこと」など、グループやイベントの紹介文を添えていただくようお願いする。

シャイアンにおいでよ！



「クリーン&フリーグループ」は、2002年ごろにワイオミング州のシャイアンで週に一回、火曜の夜にミーティングを開くようになりました。これまで何度か会場が変わったものの、少なくとも10年にわたってずっと毎週火曜の夜には『なぜ、どのように効果があるのか』のスタディミーティングを行ってきました。そして最初の会場変更のすぐあとで、金曜の夜にもミーティングを開くようになりました。それから数年間、グループのミーティングは週に2回でしたが、2013年にそれまでの会場が閉鎖されてまたもや引っ越すはめになり、新しい会場に移ったときに水曜と土曜にもミーティングを開くようになったのです。地域のメディカルセンターにある新しいホームでは、毎月最終土曜日に「バースデーナイト」を祝い、心に響くわかしあいを楽しみながらケーキを食べて仲間との交流を楽しんでいます。それ以外の土曜の夜は、出版されたばかりの『リビングクリーン：ザ・ジャーニー・コンティニューズ』によるスタディミーティングをしています。もし、みなさんがこちらに来ることにでもなったら、火、水、金、土、いずれかの夜にぜひ、おいでください。シャイニーは、コロラド州のデンバーから100マイル北のマウンテンタイムゾーン(山地時間帯)にあって、州間高速道路80と25とが交差する地点ですから、交通の便がよいところです。

トミー・O(アメリカ合衆国/ワイオミング)





ザンジバルと ダルエスサラーム

2013年にアフリカ大陸ゾーナルフォーラムが作られたことで、アフリカ大陸にあるNAはひとつにまとまり、NAのメッセージを運ぶために資源を共有して協力し合っている。そのなかで、東アフリカにあるNAの多くが成長と発展を遂げつつある。2014年の5月には伝統に関するワークショップが開かれ、ザンジバルが開催地となった。この一日がかりのイベントの前には、同じタンザニアのダルエスサラームでも第2回東アフリカコンベンションが開催された。NAWS (NAワールドサービス) は、このコンベンションで「しっかりしたホームグループをつくる」というワークショップと「NAのサービスシステム」に関するワークショップを提供し、ザンジバルのワークショップでも進行役を務めた。また、その間には、スワヒリ語による文献翻訳委員会 (LTC) のメンバーたちとも会談することができた。そして、ザン



ジバルでの伝統に関するワークショップが終わると、タンザニアでは初めてとなるエリアサービス委員会の会議が開かれた。



回復の石



ここに紹介する写真は、カンザス州のエンポリアにある「パイオニアグループ」の前庭で写したものです。この岩は、ミッドアメリカ(中部アメリカ)リージョナルコンベンションでオークションがあったときに、グループのメンバーが何人かでお金を出し合って購入しました。カンザス州のアディクトによる作品です。「パイオニアグループ」ができたのは、1987年。治療施設の地下にある24平方フィートの部屋でNAミーティングを開くようになったのです。それから13年間、あの部屋がわたしたちのホームでしたが、2005年の夏に現在の場所に移りました。自分たちの集会所ができたんですよ。それが自慢なんです。2014年の春には庭を植え替えてさっぱりさせ、建物の羽目板を新しくしました。

わたしたちのグループは現在、週に15回のミーティングを開いています。ホームグループで中心となっているメンバーが15人いて、夜のミーティングには平均して30人ぐらいのメンバーが集まりますが、昼間のミーティングではそれより少なくなっています。

わたしたちは毎年、無料のキャンプアウトを主催しています。それ以外にも、ミッドアメリカリージョナルコンベンションの資金集めとか、さまざまな行事を主催することも少なくありません。毎年、サンクスギビング(感謝祭)とクリスマスには建物を開放して、食事を振る舞い、仲間との交流を楽しんでいます。また、ハロウィーンと大晦日にはダンスパーティを開くし、ピクニックとバーベキューをやっていることでも知られています。要するにみんなで集まって回復を祝う口実になるなら、何でもいいんです！

今までで最高のイベントは、1995年のユニティデイに参加したこと。あのとき、わたしたちは巨大なスピーカーで実況されるWCNAのユニティデイのミーティングと電話回線につながったんですよ。去年のフィラデルフィアのワールドコンベンションには、ウチのグループから7人のメンバーが参加しました。狭い地下室でささやかに始まったグループにしては、たいしたもんでしょ？

カーラ・D(アメリカ合衆国／カンザス)





2枚ともオランダで写したもののだけど、伝統7の献金を集めるのも工夫次第でいろいろできるってわかるだろう。
ルッツ・B(ドイツ/ポーfum)



ナシオ・グループは、あたしの住むヒウスクバルナから40キロ離れたナシオという小さな町で、月曜の夜にミーティングを開いてるの。メンバーの一人がベーカリーで働いてるおかげで、グループではこのところミーティングのたびにケーキを食べてるわ(笑)。
ベロニカ・B(スウェーデン/ヒウスクバルナ)

恨み辛みは、 ドアの外に置いてこよう！



「フェニックス リハビリ グループ」は、月曜、火曜、木曜、土曜の夜と、水曜の朝6時に集まっています。どれも、1時間ミーティングで、ウェストバージニア州のウィリアムズタウンにあるシニア（高齢者）センターで開かれます。ミーティングは毎回、「平安の祈り」とともに始まります。そしてNAのメッセージがかすんでしまわないように、わたしたちのミーティングでは「説教したり裁いたりすること」は慎んでもらい、恨み辛みはドアの外に置いてくるようお願いするという形式をとっているんです。ミーティングのはじめにはNAに関するお知らせをしていますが、ミーティングの間に委員会などの報告やグループのビジネスを行うことはありません。月曜は、『ベーシックテキスト』や『リビングクリーン』やIP（インフォメーションパンフレット）などのリーディング（読み合わせ）によるスタディミーティング。火曜と木曜はオープンディスカッション。水曜はメディテーション（黙想）のミーティング。そして、土曜は『なぜ、どのように効果があるのか』によるスタディミーティングになっています。

2年ほど前に、わたしたちは10年近く利用していた会場を失いました……（続きは、インターネット版NA Wayの紙面に掲載）

クリスティーナ・C（アメリカ合衆国／ウェストバージニア）

Click here to read the rest of the story.

ソビエト時代に建築された宇宙観測所。ウズベキスタンでは今も操業しているんですよ。

ベラ・A（オーストラリア／ビクトリア）



これは、玄関への通路脇にある花壇に設置されたソーラー照明装置。NAのサービスのシンボルはあちこちで目にするけど、玄関までの通路にずらっと並んでるってのも、なかなかかっこいいだろ。

ラリー・B（アメリカ合衆国／オレゴン）



CALENDAR

Multi-day events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at www.na.org/events. (If you don't have Internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or *The NA Way*; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Issue	Events Occurring	Submission Deadline
April	10 April – 31 July	15 January
July	1 August – 31 October	15 April
October	1 November – 31 January	15 July
January	1 February – 30 April	15 October

Brazil

4-7 Dec; Grande Sao Paulo Regional Convention 3; Navio Cruzeiro, Santos; www.3crgsp.com.br

Egypt

14-16 Nov; Middle East Convention 3; Coral Domina Bay, Sharm El Sheikh; www.namec.org

Mexico

21-23 Nov; Desierto Area Convention; Hotel San Angel, San Luis Rio Colorado; www.bajason-na.org

South Africa

21-23 Nov; South Africa Regional Convention 21; Bergkroom Wellington, Wellington Cape Town; www.na.org.za

Venezuela

21-23 Nov; Venezuela Regional Convention 8; Hotel & Resort Aguasal Fiesta Inn, Higuero; www.navenezuela.org

United States

Alabama 14-16 Nov; Greater Birmingham Area Convention 19; Sheraton, Birmingham; event info: 205.317.0267

2) 16-18 Jan; Central Alabama Area Convention 18; Double Tree Downtown, Montgomery; event info: 716.579.4550

Connecticut 2-4 Jan; Connecticut Regional Convention 30; Hilton Stamford Hotel, Stamford; www.ctnac.org

Florida 21-23 Nov; Greater Orlando Area Hispanic Convention 8; Ramada Gateway, Kissimmee; www.orlandona.org

Georgia 26-30 Nov; West End Area Anniversary 28; Renaissance Hotel, Atlanta; event info: 404.468.6886

Illinois 7-9 Nov; Greater Illinois Regional Convention 18; Decatur Conference Center, Decatur; www.centralillinoisna.org

2) 1-4 Jan; Chicagoland Regional Convention 27; Hyatt Regency McCormick Place, Chicago; www.crcofna.org

Maryland 28-30 Nov; Free State Regional Convention 22; Hunt Valley Inn Wyndham, Hunt Valley; www.fsrcna.org

Michigan 14-16 Nov; Macomb Area Convention 4; Best Western, Sterling Heights; www.michigan-na.org/macomb

Missouri 20-22 Nov; Saint Louis Area Convention; Sheraton Chalet Westport, Saint Louis; www.stlana.org

Ohio 28-30 Nov; Greater Cincinnati Area Convention 20; Millennium Hotel, Cincinnati; www.nacincinnati.com

2) 2-4 Jan; Central Ohio Area Ultimate Speaker Jam 26; Crowne Plaza North Worthington, Columbus; www.nacentralohio.org/

Pennsylvania 13-16 Nov; Tri-State Region Start to Live Convention 32; Seven Springs Mountain Resort, Seven Springs; www.tristate-na.org

2) 30 Jan-1 Feb; Bucks County Area Convention 9; Sheraton Bucks County, Langhorne; www.bcana.eparna.org

Tennessee 28-30 Nov; Volunteer Regional Convention 32; Sheraton Music City Hotel, Nashville; www.natennessee.org/home

Texas 16-18 Jan; First Esperanza Area Convention; Hilton San Antonio Airport, San Antonio; www.eacnaonline.org

Vermont 7-9 Nov; Champlain Valley Area Convention 25; Sheraton, Burlington; www.cvana.org

Virginia 9-11 Jan; Annual Virginia Convention 33; Holiday Inn, Lynchburg; www.avcna.org

www.na.org/subscribe

The NA Way Magazine
NAWS News
Reaching Out
NAWS Email Updates
Just for Today
daily email

e-subscribe:
no printing costs
no mailing costs
direct email delivery

Calling All Newsletter Editors and Committees
Does your area or region publish a newsletter?
 Please let us know—and add us to your email/ mailing list!
naway@na.org
The NA Way Magazine; PO Box 9999; Van Nuys, CA 91409
 Share or seek newsletter experience on the discussion board:
<http://disc.na.org/servdisc>

NAWS Product Update

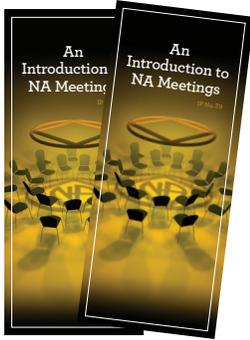
IP No. 29, *An Introduction to NA Meetings*

Offers a welcoming introduction, explains practices unfamiliar to those at their first meetings or in early recovery, and provides tips to help groups preserve an atmosphere of recovery.

Item No. 3129 Price US \$0.24

Our meetings vary widely in size and style. Some are small and intimate; others are large and loud. The practices and terms used in our meetings also vary widely from one place to another. Most importantly, our meetings are where we share our experience, strength, and hope. If you're an addict, keep coming back and share recovery with us!

[Read more...](#)



Material for your public relations efforts, now revised with updated 2014 statistics

NA: A Resource in Your Community

Item No. 1604 Price US \$0.40

2013 Membership Survey

Item No. ZPR001001 Price US \$0.30

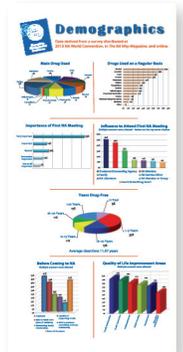
Information about NA

Item No. ZPR001002 Price US \$0.30

Demographic Poster (for I-stand)

Item No. 9092 (35" x 84")

Price: US \$33.00



World Regional Meeting Map Banner

Item No. 9090 (5' x 7') Price US \$77.45

Item No. 9091 (45" x 63") Price US \$47.45

Literature Timeline Banner



Item No. 9095 (2.75' x 9') Price US \$98.20

Item No. 9096 (2' x 7.25') Price US \$60.10

**Chinese
康复与复发**

Item No. CH-3106 Price US \$0.24

**Chinese (Traditional)
進一步的探索**

Item No. CT-3105 Price US \$0.24

康復與復發

Item No. CT-3106 Price US \$0.24

就在今天

Item No. CT-3108 Price US \$0.24

Croatian

Basic Text (5th Edition)

Anonimni narkomani

Item No. CR-1101 Price US \$7.90

**Japanese
塀の中で**

Item No. JP-1601 Price US \$0.95

Portuguese (Brazil)

Para aqueles em tratamento

Item No. PB-3117 Price US \$0.31

Spanish

NA: Un recurso en su comunidad

Item No. SP-1604 Price US \$0.40

Encuesta a los miembros

Item No. ZPRSP1001 Price US \$0.30

Información sobre NA

Item No. ZPRSP1002 Price US \$0.30





Thai

จากผู้ศีกษาเสพ

คิควัยรุ่น

เพื่อผู้ศีกษา

เสพคิควัยรุ่น

Item No. TH-3113 Price US \$0.31

ประสบการณ์เกี่ยวกับ

การยอมรับ ความไว้

วางใจ

และความตั้งใจจริง

ของผู้ศีกษาเสพคิควัยรุ่น

หนึ่ง

Item No. TH-3114 Price US \$0.24

ข้อมูลสาธารณะ และ

สมาชิกของเอ็นเอ

Item No. TH-3115 Price US \$0.24

Coming Soon

Italian

Sixth Edition Basic Text

Narcotici Anonimi

WCNA 35 Merchandise

available online www.na.org/wcna in October

Clothing, caps, mugs, shopping bags,

& other past WCNA merchandise deeply discounted.

Treat yourself or buy a gift for a friend or sponsee/sponsor.

All sales are final; quantities and sizes are limited to stock on-hand.

Orders will be fulfilled twice a month.

